

平成24年度 教科別学習ハンドブック



新見市立哲多中学校

年 番 氏名

I	活用の仕方	1
---	-------	---

II 学習について

1	学習についての心構え	2
---	------------	---

2 各教科

(1)	国語	3
(2)	社会	4
(3)	数学	5
(4)	理科	6
(5)	音楽	7
(6)	美術	8
(7)	保健体育	9
(8)	技術・家庭	10
(9)	英語	11

活用の仕方

中学校で学習する教科の目標、学習のポイントや学習の方法、評価などを『教科別学習ハンドブック』として簡潔にまとめました。

この冊子をもとにして、いま学習していること、この教科ではどんな力を身につけなければならないのかなどを確かめることができます。自分のための目標を設定し、学習に取り組み、学習後には振り返りをしたり、自分の課題を見出したりして、学習したことをしっかりと身につけてください。

毎日の学習を積み重ねていくときに、この冊子を有効に活用して、より効果を上げてほしいと考えています。

1 学習の目標

それぞれの教科には、その教科の学習を通して「どんなことを大切にし、どんな力をつけていきたいのか」また、「そのためには何をすればいいのか」といったことを示しています。これをもとにして年間を見通した自分なりの学習スケジュールを立てることができます。

2 学習の仕方

教科の学習活動には、それぞれの特徴があります。いろいろな力を十分に身につけていくには、その内容や学習方法をよく理解しておく必要があります。

各教科の授業を進めるとき、どのような準備をして、どのような気持ちで授業に取り組めばよいのか、授業が終わってからの家庭学習をどうしていけばよいのかなどの注意点も書いてあります。

学習のポイントや方法の説明を活用して、しっかり効果を上げてください。

3 評価について

評価は、皆さんの学習活動で、その目標にどれだけ到達することができたかを知らせるものです。それぞれの学習活動で身につけてほしい力の目標に対する「評価の観点」があり、自分の現在の学習状況の到達度を知ること、学習活動を見直したり、反省したりして、その後の取り組みを改善し、次の学習に生かしていくためのものです。

評価の仕方をよく理解しておくことで、何をどのように頑張っていけばよいのか、自分の努力目標を決めていくことができるようになります。評価を有効に活用して、自分の力を高めてください。

4 先生からのアドバイス

学力を高めていけるよう、各教科の先生方からのメッセージを添えました。

国語

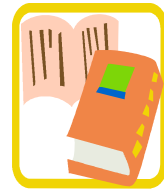
1 学習の目標

国語では、人間関係を成立させるためのコミュニケーション手段である、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」が学習目標になっています。言葉を用いて、伝え合う力を高め、コミュニケーション能力を高める学習を行っていきましょう。

2 学習の仕方

○ 授業の前に

- ・教科書、ノート、ワークブック、漢字ノート、国語便覧など授業に必要なものを忘れないように準備しよう。
- ・新出漢字を正しく覚えよう。



○ 授業では

- ・音読はみんなに聞こえるように大きな声でゆっくりしよう。
- ・先生の説明や友達の発表をよく聞いて、自分の考えを持とう。
- ・間違えることをおそれず、積極的に発表しよう。
- ・ノートには、黒板に書かれたことだけでなく、自分が気付いたことや友達の意見、先生の説明のポイントなども書いておこう。

○ 授業のあとに

- ・その日に習ったことをその日のうちに復習することが大切です。
- ・ワークブックやプリントを使って学んだことを定着させよう。
- ・ワークブックやプリントの答え合わせは、解説やポイントなどをしっかり読み丁寧に仕上げよう。

3 評価について

観点項目	評価の方法
関心・意欲・態度	学習の準備・授業中の発表・課題への取り組み・宿題の提出状況 授業ノート
話す・聞く能力	朗読・スピーチ・弁論・話し合い活動の様子・聞き取りテスト
書く能力	感想文・短歌や俳句の創作作品・作文・弁論・文章の要約
読む能力	授業中の発表・ワークブックやプリント・定期考査
伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	漢字テスト・言語事項の小テスト・書写作品・定期考査 古文の暗唱

4 先生からのアドバイス

「国語」は国語の授業だけでなく、毎日の生活の中で身につけるべきことたくさんあります。本や新聞などをしっかり読み、教養を深め、伝え合う力を高めていきましょう。

社会

1 学習の目標

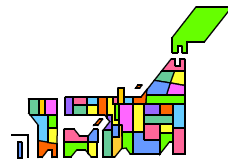
社会科では、世界や日本のこと、過去や未来のことについて、自分なりに考え、意見を述べることができる力が必要となります。したがって、知識を身につけ、さまざまな資料を活用しながら、自分で問題を見つけ、それを解決していくのが社会科の学習です。

2 学習の仕方

社会科は「覚える教科」という考えの人が多かもしれませんが、決してそうではありません。さまざまな資料（写真・グラフ・地図など）を読み取り、さまざまな角度から考え、課題解決力を身につけることが社会科の学習です。

地図が出てきたら地図帳で場所を調べるなど、資料集や地図帳を活用する習慣も大切なことです。

もちろん、重要な語句は覚えなければなりません。



3 評価について

① 社会的事象への関心・意欲・態度

準備物・授業態度（発表も含む）、提出物（プリント、ワーク、ノートなど）

② 社会的な思考・判断

ワークブック、ノート、ワークシート、定期考査、小テスト

③ 資料活用 of 技能・表現

ワークブック、白地図、プリント、授業用ノート、定期考査、小テスト

④ 社会的事象についての知識・理解

授業での発表内容、定期考査、確認テスト、小テスト

4 先生からのアドバイス

- ・ 社会人になってからの「常識」と呼ばれる内容が、社会科ではたくさん出てきます。社会科が強い人は信頼度も高まります。がんばりましょう。
- ・ テレビやインターネットのニュースに関心を持ち、世の中のできごとに敏感に反応できるようにしておきましょう。

数学



1 学習の目標

- 仕事や日常生活で活用する。
 - ・ 現在の豊かな暮らしの裏には、数学を使って解明できる様々な性質が活用されています。みなさんが将来どのような道に進むにしても、「よりよく生きる」ためには数学の力・数学的な考え方が必要になります。そのためにも『使いこなせる数学』を学習していきましょう。
- 考える力を身につける。
 - ・ 数学を学習する一番の目的は『考える力』を伸ばすことです。数学の学習を通して身につけたい『考える力』（筋道を立てて論理的に考える力・物事の本質を見抜く力・いろいろな観点から考える力、考えを整理してわかりやすく伝える力）は、みなさんの人生のさまざまな場面で大切な役割を果たすことでしょう。

2 学習の仕方

- 授業を大切に
 - ・ 授業をただ聞いているだけではいけません。先生の説明や友達の意見を聞くとき、心の中にいつも「なぜ？」「どうして？」という疑問を持つようにしましょう。そして、その『意味』を考えることが何よりも大切です。ただ答えの出し方を覚えようとする人には活用力・応用力は身につきません。常にその意味を考え、わからないことは積極的に質問しましょう。
- 宿題をていねいに
 - ・ 学習は『わかる→できる』ではありません。『わかる→練習→できる』が学習です。授業を聞いて理解できた（わかる）からといって問題が解ける（できる）わけではありません。その間に『繰り返し練習』が必要です。方法は宿題をていねいにすることで十分です。
ていねいとは、
途中の考え方・計算過程をきちんと記入すること。
わからない問題やできない問題はそのままにせず、解答を見て考えたり先生や友達に質問して意味や考え方を納得しましょう。そして、もう一度白い紙の上に自力で解いてみましょう。ただ解答を赤ペンで書き写しているようでは力につきません。

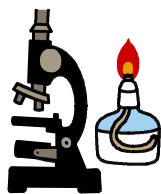
3 評価について

- 数学への関心・意欲・態度
数学の楽しさ・よさを知り、それらを活用し、意欲を持って取り組もうとしているか。
〈方法〉提出物の提出状況やその内容・授業態度・授業ファイル・忘れ物など
- 数学的な見方や考え方
見通しを持って論理的に考える力、直感力、発想力などが身についているか。
〈方法〉テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト）問題解決の過程
授業中の様子
- 数学的な表現・処理
文字式、方程式、関数、図形など各単元について、計算力などの基本的な技能を活用する能力が定着しているか。
〈方法〉テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト）問題解決の過程
授業中の様子
- 数量・図形などについての知識・理解
各単元における基礎的な概念や原理・法則・知識が定着しているか。
〈方法〉テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト）問題解決の過程
授業中の様子

4 先生からのアドバイス

- 数学は積み重ねの学問です。「ある日突然数学ができるようになる」なんてことはありません。『数学がわからなくなならない』学習をおすすめします。「わからないぞ。できないぞ。」と感じたときにどうするかがとても重要なポイントです。
- 数学の学習は『スパイラル学習』です。すでに学習したことの定着度合いが、次の学習の理解に影響を与えます。「わかった」段階を「できる」段階に高めるために、繰り返し練習による強化が必要です。「わからなかった問題」が自力でできるようになったときの喜びを味わっていきましょう。

理科



1 学習の目標

中学校の理科では、自然に対する関心を高め、目的意識を持った観察・実験を行うことにより、次のような問題解決の能力、科学的な見方や考え方を養うことをねらいとしています。

- ① 自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、事象を日常生活との関わり合いで見ようとする。(関心・意欲・態度)
- ② 事前の事物・現象から問題を見だし、目的意識を持ちながら観察・実験を行い、科学的に考えながら問題を解決しようとする。(科学的な思考)
- ③ 観察・実験の基本操作を習得するとともに、自然の事象・現象を科学的に探求する方法を身につけ、それらの過程や結果および、そこから導き出した自らの考え方を的確に表現する。(実験・観察の技能・表現)
- ④ 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。(知識・理解)

2 学習の仕方

理科では、自然の事象に興味・関心を持ち、知的好奇心を抱きながら学習を進めることが大切です。不思議に思ったこと、疑問に感じたことなどを大切にして、それらを探求しようとする心を常に持ちながら学習に臨んでください。

授業では、実験や観察も重視します。そこで予想を立てたり、方法を考えたりすることなど自分なりの見通しを持って実験・観察を行ってください。実験・観察の記録をレポートとしてまとめるときには、各自が工夫した方法で表現できるようにしてください。先生の話聞く、宿題を出すといったことは基本的なことですが、普段の授業でノートをとる、ワークシート（プリント）をしっかりとやるということも重要なことです。

3 評価について

上の1にある「学習の目標」の①～④について、A(十分満足できる)、B(おおむね満足できる)、C(努力を要する)の3つの段階で評価します。評価に関する資料となるものとしては、日常の学習への取り組み(授業態度・忘れ物・授業での発表など)、実験・観察の態度やレポート、定期テスト、宿題に対する取り組み方や提出状況、ノート・ファイル提出などを総合的に評価します。

4 先生からのアドバイス

理科では、興味と好奇心が大切です。授業内ばかりでなく授業外でもたくさんの「？」を探して、さまざまな自然・科学的な現象について学習していきましょう。また、理科に限らずですが、毎日の勉強が大切です。授業があった日には、その日の内に復習をするよう心がけて下さい。

音楽

1 学習の目標

「歌声の響く教室」これが、音楽の授業の一番の目標です。もちろん歌を聴いたり、楽器を演奏したりする授業もあります。心で仲間とつながり、身体で表現できる楽しくけじめのある授業を目指していきましょう。



2 学習の仕方

○ 授業中

- ・ 準備物（教科書・音楽ノート他）はきちんとそろえよう。
- ・ 「音楽をする心」を持って音楽室に来よう。
- ・ 失敗や間違いを恐れずに、素直な心で思いきり表現しよう。大切なのはチャレンジする心です。
- ・ 授業に集中して練習するだけで、歌い合わせる楽しさ、アンサンブルの楽しさが自然に味わえるようになります。これらのハーモニーの美しさに浸る喜びが仲間と音楽をする大きな意義なのです。

○ 授業以外で

- ・ 時間があれば自主練習をしてみよう。
- ・ さまざまなジャンルの音楽に興味を持ち、演奏を聴いてみよう。

3 評価について

○ 関心・意欲・態度

- ・ 表現活動に楽しく積極的に取り組んでいるか。
- ・ 仲間と協力して活動したりコミュニケーションを図れたりしているか。
- ・ 準備物忘れや遅刻はないか。
- ・ 持っている力を精一杯出そうとしているか。

○ 表現の工夫

- ・ 音楽の雰囲気や特徴を感じ取り、表現活動に工夫が見られるか。

○ 表現の技能

- ・ 音程、リズム、音色、運指、ハーモニーなどの学習したことが身につき、上達しているか。

○ 鑑賞

- ・ さまざまな音楽に関心を持って聴くことができるか。
- ・ 音楽のしかけ（速さ、強弱、調、楽器の構成）などに注目して聴けているか。
- ・ 音楽の背景となる歴史や文化にも興味を持って聴けているか。

※ 授業の様子・準備物・遅刻・振り返りシート・実技テスト・提出物（ノート・プリント）、定期考査

4 先生からのアドバイス

音楽はまず楽しむこと、次に自分がどう感じるか、自分がどう表現したいかという、自分自身の感性が大切です。失敗をおそれず、仲間といっしょに学べる1時間をつくっていきましょう。みんなの心が一つになったとき、すばらしい感動が味わえます。

美術

1 学習の目標

本来、表現することは人間にとって楽しいものだと思います。また、絵を描いたりものをつくったりすることは心を豊かにしてくれます。大人になって豊かな人生を送るために、今、さまざまな表現の体験をしておきましょう。

3年間を通して、絵画、デザイン、工芸、彫塑の4つの分野から題材を選定し学習するので、興味や関心を持って取り組んでください。

2 学習の仕方

※美術では次のことに注意して授業や家庭学習に取り組んでみよう。

- ・ 準備物を持ってくる。(教科書、資料集、レタリング字典、デザインセット、水彩絵の具、B以上の鉛筆、消しゴム、制作で必要なもの)
- ・ うまいとか下手とかではなく、美術に親しもうとする気持ちが大切です。
- ・ アイデアをしっかり練り、自分のオリジナリティーを大切にしよう。
- ・ 苦手意識を持たないで、思い切りよく表現しよう。
- ・ 有名な作品や友達の作品をよく鑑賞し、自分の言葉で良いところを表現しよう。

3 評価について

- 関心・意欲・態度
 - ・ 準備物、授業態度、提出物、片付け
- 発想・構想の能力
 - ・ ワークシート、スケッチブック、作品、定期考査
- 創造的な技能
 - ・ ワークシート、スケッチブック、作品、定期考査、課題
- 鑑賞の能力
 - ・ 自己評価カード、鑑賞レポート、定期考査、課題



4 先生からのアドバイス

集中して取り組めば、次第に作品ができてきます。作品ができれば自信が出ます。そして美術の楽しさがわかってきます。最後まであきらめしないで丁寧に作品を完成させましょう。

保健体育

1 学習の目標

- 運動の行い方やからだの動かし方について理解し、体力を高め、からだの調子を整え、たくましい心や体を育てていこう。
- 運動の楽しさを味わい、仲間とコミュニケーションを図りながら協力して授業を進めよう。
- 競争や協同の経験を通して、ルールを守り、お互いに健康や安全に留意して運動に取り組めるようにしよう。
- 健康・安全についての理解を通して得た知識を日常生活に生かしていこう。

2 学習の仕方

- 学習の前に
 - ・ 体育は身体を動かすことが第一です。そのために病気やけがをしない心がけが必要です。
 - ・ 実技書やルールブックで種目のルールや技能について調べておこう。また、スポーツをしたり観たりすることに関心を持とう。
- 授業では
 - ・ しっかり身体を動かし、運動を楽しもう。
 - ・ 時間に遅れず、服装を整え参加しよう。
 - ・ 協力して準備や片付けを行い、活動できる時間が多く確保できるようにしよう。
 - ・ 仲間と協力して練習や試合ができるように積極的なコミュニケーションを図ろう。
 - ・ 保健の時間では「なぜだろう」という疑問を持ったり、その答えを予測したりしてみよう。
 - ・ 日々の生活にスポーツ・運動を取り入れることを心がけよう。
 - ・ 体育や保健の授業で学んだことを生かし、健康・安全に留意して生活しよう。

3 評価について

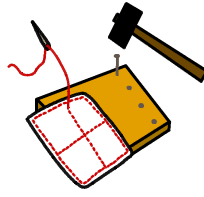
- 関心・意欲・態度
 - ・ 活動に積極的に参加し、運動を楽しむことができるか。
 - ・ 自分の持っている力を精一杯出そうとしているか。
 - ・ 指示・説明・注意事項などを集中して聞くことができるか。
 - ・ 保健の学習においては、忘れ物がなく、積極的に自分の意見が言えているか。
- 思考・判断
 - ・ 仲間と協力して、運動を工夫したりコミュニケーションを図ったりしているか。
 - ・ 仲間や自分の安全を考え、活動できているか。
 - ・ 学習カードやノートなどに学習内容を整理してまとめているか。
- 技能
 - ・ それぞれの運動を楽しむことができる技能を身につけているか。
 - ・ それぞれの運動の技能がよりよくできるようになったか。
- 知識・理解
 - ・ 単元で取り上げた運動の技能・練習方法・ルールなどを理解しているか。
 - ・ 保健で学習した内容を理解し、身につけているか。



4 先生からのアドバイス

将来もずっと自分の生活の中に運動を取り入れ、健康で豊かな生活を送れるようにするための基礎づくりが体育の時間です。仲間と一緒に安全に配慮し、体力の向上を目指して楽しく授業に取り組もう。

技術・家庭



1 学習の目標

わたしたちの現在および将来の生活に必要な知識や技術を身につけるために、実践的・体験的な学習を中心に行います。そして、生活と技術の関連を理解し、生活をよりよくしようとする態度や能力を身につけ、それを生活に生かす楽しさを味わうことがねらいです。

2 学習の仕方

- 学習にあたっては、説明をよく聞き、資料をしっかり活用して理解を深めましょう。
- 学習内容がわからないときにはその場で解決し、正しく理解しましょう。
- 実習では、課題をよく確かめ、計画的・合理的に作業を進めるようにしましょう。
- 製作には計画的に取り組み、よりよい作品に仕上げるように創意・工夫し、最後まで根気よくやり遂げるようにしましょう。
- 実習では、特に安全に留意し、各自が責任を持って、みんなで協力して作業や後片づけをしましょう。
- 新たな疑問点や解決したい課題を見つけ、学習を深めましょう。

3 評価について

- 技術分野と家庭分野を総合的に判断し、以下に示すような場面や資料で「A・B・C」の3段階で知らせます。
 - ・ 生活や技術への関心・意欲・態度
課題に対する取り組みの姿勢（準備物・発表・態度など）、学習プリントや総合ノートの記事、自主プリント
 - ・ 生活を工夫して創造する能力
実習への取り組み方、学習プリントや総合ノートの記事、作品
 - ・ 生活の技能
実習の様子、学習プリントや総合ノートの記事、作品
 - ・ 生活や技術についての知識・理解
学習プリントや総合ノートの記事、定期テスト
- 評価は4つの観点をもとに総合的に判断し、5段階でお知らせします。

4 先生からのアドバイス

次の時間に学習することを確認し、生活に関連する課題や疑問点を見つけておきましょう。そして、準備物を確認しておきましょう。

学習した内容は必ず実生活で実践し、社会の一員としての役割を果たしましょう。

よりよい生活を目指して、課題を解決し、日々の生活を工夫・創造しましょう。

英語



1 学習の目標

- 英語を聞いて話し手の気持ちや考えなどを理解できるようにする。
- 英語を用いて自分の気持ちや考えを話すことができるようにする。
- 英語を読むことに慣れ親しみ、書き手の気持ちや考えを理解できるようにする。
- 英語で書くことに慣れ親しみ、自分の考えなどを書くことができるようにする。

※ 英語の学習を通して、これらの4つの力を身につけるだけでなく、自分の気持ちや考えをどのように表現するのか考える力も身につけていきます。

2 学習の仕方『上達のポイントは毎日繰り返し学習すること』

- 授業の前に予習をすれば授業の理解度は必ずアップします。
 - ・ 予習ノートに新しい英単語の意味を調べて、その意味を書き、重要文・本文も教科書を見て写しておく。できれば本文の意味も考えておこう。
- 1時間1時間の授業を大切に。意欲的に取り組もう。
 - ・ まちがいをおそれず、大きな声で単語や重要文を繰り返したり、教科書を読んだりしていこう。また英語の歌もしっかり歌おう。
 - ・ 自主的に手を挙げて発表し、活動にも意欲的に取り組もう。英語は積極的なほど上達が早いですよ。
 - ・ 授業に100%集中しよう。大切なポイントは必ずノートにまとめよう。
 - ・ わからないところはその場で、または授業後すぐに先生や友達に質問しよう。
- 授業後、授業で習ったことを見直そう。
 - ・ 復習ノートにその日に習った単語・重要文を書いて練習しよう。
 - ・ 宿題は確実にこなしていこう。日々の積み重ねが力をつけるものですよ。
 - ・ 授業を思い出して教科書を大きな声で読んで暗唱しよう。
 - ・ 忘れないうちにプリントや問題集で復習しよう。

3 評価について、次の4つの観点で評価されます。

○コミュニケーションへの関心・意欲・態度 意欲的に活動に参加し、積極的にコミュニケーションをしようとする。	○表現の能力 習った表現を使って、自分の考えや気持ちを話したり書いたりできる。
○理解の能力 英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる。	○言語や文化についての知識・理解 英語の使い方や外国の文化についてよく知っている。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業中の発表、コミュニケーション活動への意欲 インタビューテスト、毎日の課題
表現の能力	スピーチ、スキット、暗唱、プリント自己表現、英作文 定期テストなど
理解の能力	定期考査、聞き取りテスト、ノートなど
言語や文化についての知識・理解	定期考査、単語テスト、小テスト、レポートなど

4 先生からのアドバイス

英語を覚えることは大変ですが、その分喜びも大きいです。英語の番組、洋画、英語の本、英語の歌などできるだけ英語に接する時間を多くもちましょう。できれば英文日記を書いたり英語検定にも挑戦してみましょう。恥ずかしがらず、ALTの先生にどんどん話しかけてみましょう。言いたいことがわかってもらえたときは本当にうれしいですよ。

English is fun !